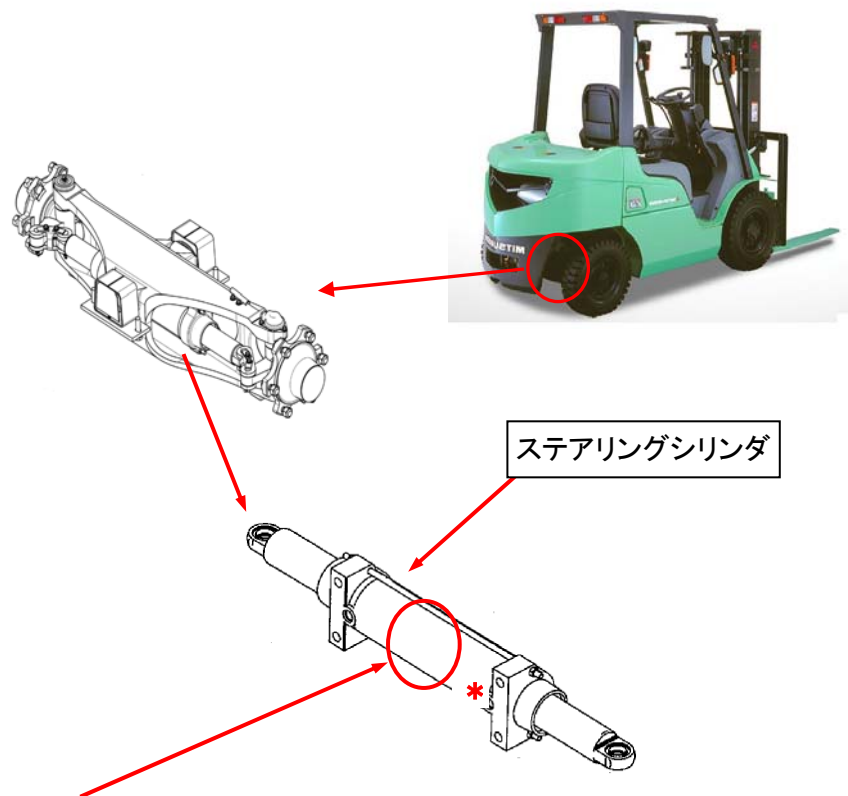


改善箇所説明図



不具合発生箇所

ステアリングシリンダピストンシール溝とシールの寸法が不適切なため、頻繁にステアリング切返し操作を行うと、当該シールが異常に磨耗することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、作動油の内部漏れが発生し、最悪の場合、作動油が高温となっている場合、ステアリングをゆっくり操作した時にかじ取り輪の動きが鈍くなるおそれがある。

改善の内容

全車両、ステアリングシリンダを対策品に交換する。

☐ は交換部品を示す。

識別: ステアリングシリンダ交換車両は上図の*部に白色ペイントを塗布。